



日本共産党

北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<http://kyoukita.jp/nonoyama/> E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.347 2015.6.3

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

戦争への道止めよう

日本共産党が赤羽駅東口で署名宣伝行動



署名をよびかけ、「戦争法案を廃案に」と訴える池内さおり衆院議員(右)と、そねはじめ都議、北区議員団ら =5月31日、赤羽駅東口

日本共産党の池内さおり衆院議員と、そねはじめ都議、北区議員団は5月31日、赤羽駅東口で戦争法案に反対する署名宣伝行動をおこないました。

池内衆院議員は「志位和夫委員長の国会での追及(裏面参照)で、法案の危険性がリアルになり、廃案を求める世論が急速に高まっています」と訴え。のの山けん区議も「戦後70年を迎えるいま、憲法9条を持つ日本で『戦争する国』づくりは断じて許すことができません。立場の違いを越え、戦争への道を止めようの一点で団結し、運動を広げましょう」とよびかけました。約1時間の行動で、81人が戦争法案反対署名に応じました。

小中学校で運動会

5月23日に岩小で、30日には赤岩中で運動会が開かれました。躍動する子どもたちの競技・演技に、時を忘れて見入りました。(のの山けん)



岩淵小学校の運動会



赤羽岩淵中学校の運動会



**戦争
法案**

こんな法案は 廃案しかない!

衆議院特別委員会での質疑が続く戦争法案。5月27日、28日の両日におこなわれた日本共産党・志位和夫委員長の総括質疑で、その恐るべき内容が明らかになりました。

「殺し殺される」危険 決定的に高まる

戦争法案は、自衛隊の活動地域を「戦闘地域」にまで広がります。そのことを指摘された首相は、自衛隊活動の実施区域について「戦闘行為がないと見込まれる場所」を指定すると弁明。しかし志位氏が「そんなことは法案には一言も書いてない」と批判し、逆に法案では「(自衛隊が活動している場所で) 戦闘行為がおこなわれるに至った場合」を想定して対応方針を明記している事実を指摘しました。首相は「(攻撃される) 可能性が100%ないと申し上げたことはない」と、攻撃される可能性を認めました。

志位氏は「非戦闘地域」とされたイラクのサマワでさえ、重火器(写真)を携行したことを明らかにさせ、「これで反撃すれば戦闘行為になるのは明らか」と批判しました。



これが陸自部隊がサマワに携行した武器
※防衛省ホームページから志位和夫事務所が作成

戦地派兵なら 「必ず戦死者が出る」 (元内閣官房副長官)

イラクで陸上自衛隊の宿営地は、ロケット弾などによる攻撃を14回23発も受けました。航空自衛隊の輸送機はミサイルに狙われ、命がけの回避行動を必要としました。戦争法案で武器・弾薬の輸送などを可能にすれば、危険の増大は明らかです。

志位氏は、イラク戦争ときに自衛隊派兵実務の中心を担った柳沢元内閣官房副長官が「確実にリスクが高まる」「必ず戦死者が出る」とのべていることを示し、「この発言は重い。自衛隊員に戦死者が出るのは避けがたくなる」と追及しました。

米国の戦争にノーといえない政府 侵略国の仲間入り

アメリカの武力行使に対して国連が採択した避難決議と日本の態度

1983年
グレナダ侵略
日本は
棄権

1986年
リビア爆撃
日本は
反対

1989年
パナマ侵略
日本は
反対

志位氏は、日本政府がこれまで米国の戦争に一度たりともノーといったことがないとし「米国が先制攻撃の戦争に乗り出しても、違法な戦争と批判できず、言われるままに集団的自衛権を発動することになることは明瞭」と批判しました。